

3. 柏市の強みを踏まえた将来の展望について

(1) 柏市の産業振興の基本理念

柏市産業の現状や課題をふまえ、「未来へつづく先進住環境都市・柏」という市の将来像を基に、以下の通り、産業振興の基本理念として示します。

柏市が目指す産業の基本理念

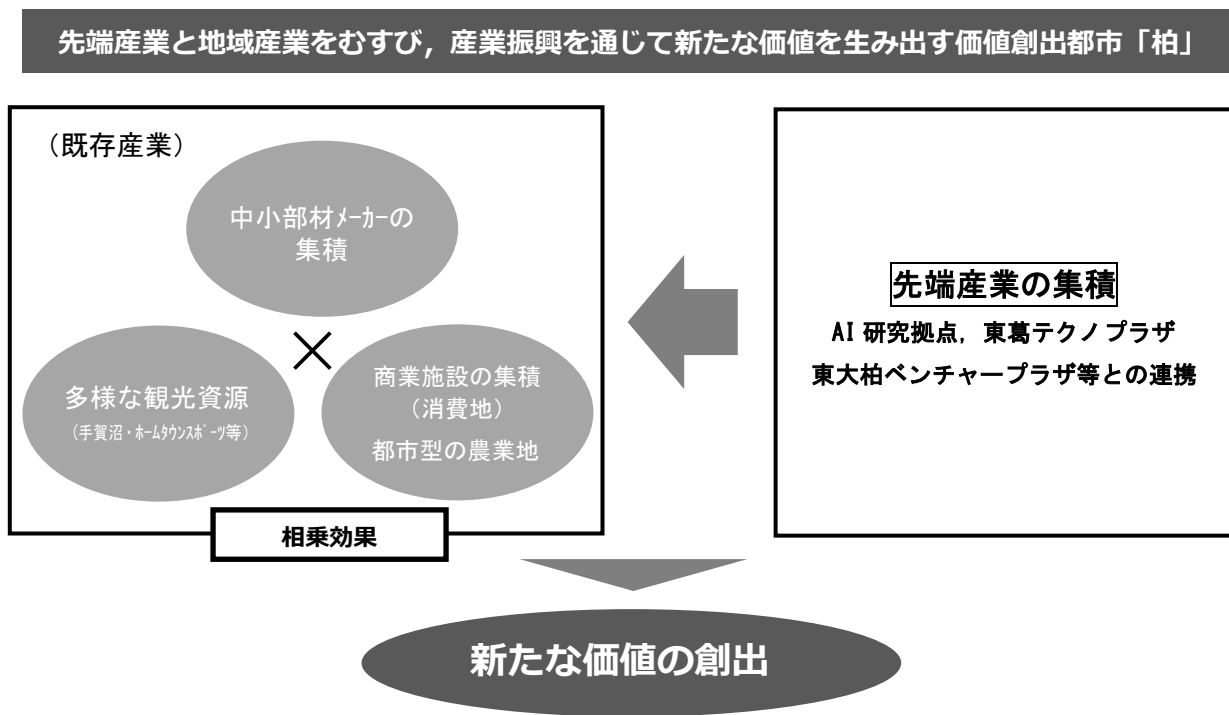
**先端産業と地域産業をむすび、
産業振興を通じて新たな価値を生み出す価値創出都市「柏」**

千葉県北西部に位置し首都圏東部の中心的地域である柏市は、都心からの交通の利便性を背景に多様な産業が集積したものづくり地域として発展してきました。平成10年に産業支援機関である「東葛テクノプラザ」が設置されて以降、起業家支援機関である東大柏ベンチャープラザや柏の葉オープンイノベーションラボ（31 VENTURES KOIL）、TXアントレプレナーパートナーズ（TEP）が設置されるなど、ベンチャー支援・産業育成の先進地域として注目を浴びるとともに、東京大学や千葉大学のキャンパスの設置に加えて国立がん研究センターが進出するなど、産学官連携地域としても発展を遂げてきました。平成30年11月に、産総研が設立した人間拡張研究センター（AI研究拠点）の本格稼働に伴い、今後はより多様で高度な先端産業の集積が期待されるところです。この先端産業の集積のポテンシャルを活かし、既存の地域産業を結びつけることにより高生産性化や高付加価値など、新たな価値を創造します。

一方、高度経済成長期以降、柏市は東京のベッドタウンとして急速な発展を遂げており、市内および周辺地域の人口の増加に伴い、消費者の買い物需要を満たすために商店街や商業施設が数多く集積し、一大商業地として成長してきました。また、鎌倉時代末期創建の神明社や明治初期建造の旧手賀教会堂など由緒ある社寺や史跡も残存するなど歴史的・文化的側面を有する手賀沼等の観光資源や生産性が高いかぶ・ねぎ・ほうれん草等の農作物をはじめとした農業も盛んといった一面を持ち、近年交流人口が増加しています。特に、観光資源としては年間約100万人の観光入込客数を誇る道の駅しょうなん、農産物としては生産量日本一を誇るかぶが有名です。これらの多様な産業ポテンシャルを活かし、柏市産業のさらなる発展を行っていくために、これらの地域資源を活かした魅力の創出や業種の垣根を越えた連携による新ビジネス・新産業の創出を目指します。

以上の認識をもとに、柏市を取り巻く社会経済環境の変化や柏市産業の現状・課題をふまえ、目指す産業の基本理念を「先端産業と地域産業をむすび、産業振興を通じて新たな価値を生み出す価値創出都市『柏』」と決めました。

＜柏市が目指す産業の基本理念のイメージ図＞



(2) 柏市産業振興戦略ビジョンの目標

基本理念の実現のために、本ビジョンが目指す目標を以下に示します。

目標 ①	先端産業の集積が促進されており、イノベーションによる新たな価値の創造がなされている
-------------	---

＜目標①を検証するための指標(案)＞

- ・企業誘致数
- ・産学官マッチング数

目標 ②	既存の産業や地域資源を活用し、産業力が強化されている
-------------	----------------------------

＜目標②を検証するための指標(案)＞

- ・各分野の生産額等
- 観光 入込客数 商業 小売店売上高 農業 農産物市場出荷額 製造業：製造品出荷額

目標 ③	地域の産業を支える基盤づくりが推進されている
-------------	------------------------

＜目標③を検証するための指標(案)＞

- ・起業数
- ・雇用者数 (若年者就労支援事業, シルバー人材センター)